

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年12月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100583
法人名	医療法人 甲和会
事業所名	グループホーム なごみ
所在地	鹿児島県鹿児島市甲突町24番16号 (電話) 099-224-3106
自己評価作成日	平成28年11月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームなごみの理念、あるがままの貴方にそっと寄り添い貴方の出来ること、したい事を尊重します。貴方と家族の絆を大切に支え、地域の中で自立した生活が出来るよう支援します。

この理念に沿った介護が提供できるよう地域への関わりの理念と方針から、総合学習の一環の受け入れとした総合学習の交流会や運動会等の参加、日々研修会や勉強会に取り組んでいます。また、ご家族、知人、友人等の面会もとても多く、入居者様の普段の生活や生活史の情報の共有から入居者様の気持ちに沿った支援に繋がる事に深く感謝し大切にしております。

入居者される方々は地域の方は勿論、今年度に入り県外からのご希望も多く、待機者としてご対応させて頂いてる所です。県外の息子さん、娘さんとの同居も年を重ね御自分が生まれ、育った鹿児島へ帰省したい気持ちや慣れない環境での言葉の壁で同居や介護施設での生活困難からの相談にも力をいれて取り組んでいます。周辺の散歩も車イス対応のループがあったりと個々の体力に応じた機能訓練を兼ねた取り組みも定期的に行っています。

レクレーション、外部レクレーションでは各担当者の計画を計画書としてあげ、その時期の感染や気候、無理がないかを判断し外出支援にはご家族への参加も含め行っています。職員各々の経験と研修参加でのスキルを活かして現場に取り組む事、ユニットリーダーによるチーム作りも日々構築して邁進している所存です。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年11月30日

- ・当事業所は、地域住民との交流が盛んで散歩中の挨拶をはじめ、地域の夏まつりや運動会参加、児童の来訪、施設行事の準備作業には児童から年配者まで率先して参加があり、地域と良好な交流が行われている。
- ・災害避難訓練を消防署の協力を得て、地域住民や家族・入居者も参加して行っている。避難誘導訓練や消火器の点検・取り扱いなども実習し、避難場所での地域住民の協力体制も築いている。
- ・協力医療機関からの定期往診や24時間医療連携体制が整っており、複数のかかりつけ医とも連携が取れている。歯科医による研修会も実施し、口腔ケアに努めている。
- ・理念にそった「グッドネス」の実践は、利用者の良い所を把握して長所を活かし利用者の対話や笑顔を増やして、職員間の支援が広がるような取り組みである。「一日一部屋運動」もあり、管理者が一部屋一定の期間観察し、サービス向上につなげている。
- ・車椅子対応のループがあり、車椅子でも散歩ができる。個々の体力に応じた運動で残存機能を保持できるように支援している。
- ・職員は有資格者が多く経験豊かな対応をしている。施設長や管理者は職員の研修や資格取得の支援に力を入れており、利用者や家族へ心が届く質の高いケアを目指して取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「あるがままの貴方にそっと寄り添う」事を念頭に、地域の中での生活が少しでも実践できる様、内部研修等でも常に理念に沿ったカンファレンスを行い共有に努めている	事業所独自の理念を、玄関や廊下・事務所・ホールに掲げ、パンフレットにも掲載している。理念は月毎の職員会議や内部研修で振り返り確認し、日々の実践を通じ全員で理念の共有とケアの統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の児童センター、小学校の総合学習の受け入れ、町内会の行事（運動会等）へ積極的に参加を行い交流を図っている。	町内会に加入し、地域行事の運動会や敬老会・児童センターの行事・クリスマス会などに積極的に参加し交流を図っている。子供たちもホームに立ち寄り会話している。ホームの花見には毎回、地域住民やボランティア・子供たちの手伝いがあり、交流している。散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり継続的な交流ができています。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣との繋がりには運営推進委員会や町内会の総会参加、児童センター等の交流・行事参加をえて、認知症に対する理解や行政の窓口として努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会や民生委員会の萱方、ご家族を始め地域密着に伴い通所介護事業所や児童センター、地域包括支援センターのご協力を頂き、意見や助言を頂き支援の向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況報告や災害避難訓練の報告・グループホームへの要望・地域情報交換等の議題で意見交換している。地震災害避難訓練は綿密な計画書の下、消防署や地域住民の参加があり指導助言を得ている。会議での意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>支援取り組みでの提案やお知恵を頂く機会として、運営推進委員会、外部研修（市・グループホーム協議会主催）鹿児島市の長寿支援課と定期的に連携を図っています。</p>	<p>市担当者とは窓口に出かけ取り組み状況を伝えアドバイスを得ている。運営推進会議に地域包括支援センター職員が参加し連携をとっている。市主催の研修会には積極的に参加し、市介護相談員の受け入れも行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束に繋がる恐れのある入居者の情報を共有しカンファレンスを行い 拘束のないケアを徹底するよう努めています。</p>	<p>身体拘束廃止マニュアルを作成し委員会を中心に、勉強会や研修会を実施している。事例を出して検討し、拘束のないケアを共有している。言葉の拘束にも配慮している。移動販売の日は買い物で外出している。外出願望の素振りが見られた時は利用者の立場になって見守りで情報を共有し自由な暮らしを支えている。玄関の施錠が必要な時は、家族と同意書を交わし了解を得て短期間だけ行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修、外部研修により入居者様の虐待が見過ごされない様情報を共有し、職員互いに注意出来る環境。意識付けを行っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>内部研修、外部研修により権利擁護に関する制度を勉強して職員間で共有する事で活用に向けて取り組んでいます。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約は書面を用いて個別に家族、本人の面談を行い在宅時（入院時）のケアマネジャーとの情報連携を元に十分な理解と納得が得られるような説明に努めています。また、内容の変更や解約にも同等に行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進委員会や面会時、日常の入居者様のお声や意見・要望が引き出せるように努めています。また、御意見箱を設置し、意見を投書箱に頂き・職員間で共有し運営に反映できる様努めている。</p>	<p>本人からは日々の暮らしの中での言葉や態度・表情から思いを推測している。運営推進会議でも気軽に要望や意見など出してもらえるよう支援している。家族の意見や要望は面会時や電話などで職員が丁寧な対応をして、聞き取るよう努めている。面会の方法について意見があり、出入口を改善した事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常業務の中でも定期的に、各ユニットのリーダーが拾い上げた意見、要望を法人内での会議をえて、検討し運営に反映しています。</p>	<p>各ユニットリーダーは職員との日々のコミュニケーションの中で意見や提案を聞く機会を設けている。管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り、相談を受けてアドバイスをしている。業務関係の意見や要望が多く、おむつ交換の仕方や雑巾の扱いについて等、意見を運営やケアに反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は個人の希望や条件にあつた就労が出来る様に定期的に数回の面談をえて、意見要望を確認し・職場の環境整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の経験や資格から、スキルアップを図り各研修の参加や資格取得が出来る環境を提供しています。また、職員からの意見要望を受けての内部研修実施をしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営推進委員会議へ、包括支援センターや他グループホーム管理者の方に参加頂いています。また、定期的に他介護施設への見学、研修へ活かさせて頂き、交流と勉強への取り組みをさせて頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居支援を開始する前に、ご家族より御本人の生活史を聞き取り 御本人を含め利用開始後も、安心した生活が送れる様、時間や場所の工夫を行い、職員間で情報の共有を図っています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の御相談に、ご家族の想い、利用者への想いを聞き取り、支援へのごロ会と問題の解決に向け、支援（ご利用）開始後もご家族と一緒に協力出来る関係作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人が安心出来る支援は何かを一番に考え、ご家族の想いを尊重し対応しています。介護保険外のサービスも含めた対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の尊厳を一番に、これまで生きてきた経験や人生観を踏まえて決定権は自己判断としています。ご利用者様の出来る所はして頂き、心と言葉で感謝の気持ちを伝える様心がけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御本人とご家族の絆を入所後も大切にし、心の葛藤や負担を持つご家族の心情を念頭に行事への参加や面会時のご様子の報告を通して、共に支えていく関係を築いていけるように努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域への行事の参加、近隣の散歩等を通じて関係の維持を図り、ご友人やご親戚の方がご面会に来やすいような雰囲気作りを努めています。</p>	<p>馴染みの友人の面会が多い。親戚や友達夫婦・スポーツジムの友人・商売仲間等、親しい関係の訪問があり、部屋でゆっくり話しできるようお茶を出している。訪問美容師や墓参りに家族が同行している。馴染みの人や場との関係継続支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>集団生活の場になりがちであるが、家族の生活の延長の場として声かけを行い、人の集う場所にお声かけする等、コミュニケーションを通じて会話が持てるような雰囲気作りを支援しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>頂いたご縁と出会いを大切に、退去後もご本人への面会や病院（医療連携室担当者）との断続した関係に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	グッドネスへの取り組みを初め、ご本人に寄り添う気持ちを常に念頭において日常の言葉や行動、表情で本人の想いや希望が支援出来るように努めています。	理念にそった「グッドネス」の取り組みで、本人のいい事を記録して、会話を増し、しぐさや表情・言動で思いや暮らしの支援が広がるようにしている。「一日一部屋運動」の取り組みを行い、管理者が、ゆっくりと利用者と話をして思いを把握している。意志疎通が困難な場合家族や関係者から情報を得るなどして本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から職業歴やこれまで歩んできた生活歴等の情報を頂き、アセスメントにて確認し得意な事や趣味が継続して行える環境作りに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	グループホームの日課や、週間、行事に沿って、1人ひとりの生活ペースを大切に、状況に合わせた対応を心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は日々の気づきやカンファレンスで検討を行い、現状にあった本人のケアが出来る様計画を立てています。変化があった場合はその都度見直しを行い、カンファレンスを開催し介護計画の作成に努めています。</p>	<p>入居時に、本人や家族の意向を聞きアセスメントし、職員・主治医の意見を聞きながら、話し合いカンファレンスして、情報を共有して、意見やアイデアを反映させた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施している。見直しはその都度、現状に即した計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>看護師と身体状況や職員の認知症の状況の変化の把握に努め、情報を共有し申し送り時には気づきや実践の報告、見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>平気で家族の状況、その時々にも生じるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>集団生活の場であっても、個々のケアへの取り組みをしっかりと行うた園に協力医療機関や他事業所、ご家族との連携をえて、多方面から柔軟に物事を捉えるように取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事、児童センターの行事参加に積極的に取り組み、閉ざされた空間での生活にならないよう努力しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時にかかりつけ医（主治医）を確認し、法人内の医療機関の担当医は月2回受診、訪問受診、訪問看護、往診などして頂き情報を密に行い医療連携を図っています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医を優先している。法人の医療機関の往診は月2回、訪問看護とも連携をとっている。歯科は訪問診療で対応、義歯の点検や毎月の口腔ケアの勉強会も行っている。眼科など複数の希望するかかりつけ医の受診ができるよう関係を密に結んでいる。医療の受診結果は、家族にその都度報告している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>グループホーム職員の看護師や法人内の看護師の日常的な協力の元、個々の利用者が適切な受診や指導を得て、職員の意識や知識の向上に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は主治医、看護師、ケアマネージャーからの紹介状やサマリーにて情報の提供を行い早期治療や退院ができるように情報を提供しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に看取りに関するグループホームの重度化した場合や看取りに関する指針について説明を行っています。その上で、ご家族の意向や希望を優先し、主治医や看護師との連携を得て可能な限り希望に沿って出来る様努めている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を、入居時に説明している。「看取り介護についての同意書」があり、状況が重度化して看取り等を視野に考える場合、医師や家族と話し合いを重ね、家族の意向や希望を大切にしてい、可能な限り希望に沿った最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入居者の急変、事故発生時の対応は内部研修を行い、ホーム職員の看護師から緊急時や初期手当の指導を日常的に受け、実践出来るよう図っている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急マニュアルは常時職員が見える場所に置き、消防訓練、災害訓練を消防署の協力の元、緊急時の対応に備えています。</p>	<p>マニュアルを基に消防署指導のもと、年2回利用者や地域住民と共に避難訓練を行い、避難経路・誘導等を実施している。スプリンクラーや自動火災報知機がある。災害時は水や缶詰・米・プロパンガス・卓上コンロ等を常備している。訓練後に消防署から指導・助言を受けている。隣接のコンビニエンスストアやタクシー会社にも協力を依頼している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個々の人格を尊重し、人生の先輩としての敬意をはらうと共に生活の中で、排泄時や入浴時等の声かけや接遇に注意し、プライバシーを損ねないように努めています。</p>	<p>マニュアルを作成して、勉強会や研修会を行っている。一人ひとりの人格を尊重し、職員間で連携を取りながら、利用者一人ひとりを良く知るように努めている。おむつ交換や名前の呼び方・入浴時等、誇りやプライバシーを損ねないよう声かけに注意して対応している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中で、本人の気持ち、声をくみ取り職員で共有した中で支援を行うようにしています。誕生日には本人の希望に沿った1日が送れるよう担当者が企画し、想いでに残る1日を過ごせるように行っています。</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務中心のケアにならないよう、個々の希望に沿った暮らしが送れるように生活史の中から、拾い支援に努めています。</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時、その日の天気や季節、気候を伝えご自分で判断、希望される方には選択して頂き、目の不自由な方、判断が難しい方には支援を行っています。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>1週間のメニューの中にリクエスト献立をいれ楽しい雰囲気の中で食事をして頂いたり、庭で入居者様と収穫した野菜や季節の果物（すいか）で懐かしんで頂く趣向をこらしたり食器ふきや片づけ、台拭き等出きる所は率先して頂いています。</p>	<p>ホームの菜園で採れた旬の食材を使い、スイカや野菜の料理で季節を感じ、月・金は好きな物や食べたい物を作っている。行事食を多く取り入れ食事を楽しめるよう工夫している。食事形態を変えたり嗜好を把握したリクエスト食の提供を行い、皿うどんやてんぷら等、楽しみな食事である。利用者の力量に応じて下膳や片付け・台拭き等、職員と一緒にやっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取・食事摂取の申し送りを必ず行い、捕食や摂取して頂く工夫の情報の共有に努め支援を行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は毎回口腔ケアを行い、義歯の洗浄や口の中の異変の観察に努め、今年度は定期的に来て頂いてる歯科医による研修も受ける予定です。（平成28年11月24日）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄での失敗がご本人の尊厳や自信を失うものであることから、定期的なトイレ誘導の声かけに工夫したり、チェック表を参考に可能な限りトイレでの排泄を支援しています。	トイレでの排泄を基本として、排泄チェック表を参考にパットや紙・布パンツで工夫して、個々に応じたトイレ誘導をしている。夜間もポータブルトイレやトイレ誘導により自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前、午後とレクリエーションの時間を利用し身体を動かす時間を設定し、一部介助の歩行訓練や体操を行っています。また、排便コントロールが困難な方には食物繊維の多い寒天ゼリーに工夫をこらし取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1週間に2回の入浴日を決めてはいるが、本人の希望に沿って（同性入浴や仲のよい入居者入浴等）柔軟に対応しています。体調不良時にも、清潔保持の為、清拭や手浴、足浴を行っています。	入浴日は基本的に週2日であるが、順番や快適な湯温度、同性介助など、本人の希望に沿って入浴を支援している。体調不良や入浴を嫌がる利用者には一番風呂を勧めたり、清拭や足浴・手浴も行っている。声かけに工夫してコミュニケーションを取りながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣から、就寝や休息のパターンを考慮しながら寝たきりの生活にならぬ様、起床時間、就寝時間、休息などのメリハリのある生活支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当医の受診後の処方箋確認と確認を必ず申し送り、再度設置、服薬確認者が症状の変化に努めています。服薬の困難な方やのみこみ確認が困難な方への支援も工夫し行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活史の中で継続して出きる趣味（将棋等）、残存機能を使って出きるレクリエーションを 毎日の生活の中で取り入れる支援を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	公園の散歩、食材の買い物（近隣のスーパー）、また地域の行事（運動会等）への参加やご家族との福祉バスを利用してのホーム外レク等外出にも積極的に参加しています。	日常的には、隣の川沿いの公園を散歩したり、地域の運動会、おぎおんさー、近隣スーパーマーケットでの買物をしている。年間計画をたて春や秋の花見やピクニック・そうめん流しなど、積極的に戸外に出かけるようにしている。福祉バスで車椅子の利用者も、コスモス見学や知覧特攻平和会館・そうめん流し等、会話も弾んでいる。家族の協力もあり外食や買い物なども支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預かり金を保管させて頂き、外出レクレーションや移動販売車がきた時等 ご本人に品物を選んで頂き、購入して頂く支援をしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話や手紙の取り次ぎ、ご本人からの希望がある時は職員よりご家族へ連絡し、その旨をお伝えし会話や面会ができる環境作りに努めています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様が休息している時間に清掃を行い、季節に応じた壁面や花の飾りづけを入居者様と共に行っています。また、行事等の記録写真を掲示する事で短期記憶が難しい方でも、ご自分が振り返られる環境作りに努めています。</p>	<p>ホールは日当たりがよく、快適な室温環境が保たれている。季節に応じて花や壁の飾りに工夫をした設営がある。利用者はテーブルを囲んでお喋りや折り紙・はり絵・テレビを楽しみながら、それぞれの場所でくつろいでいる。台所や食堂にはソファも置かれ居心地よく暮らしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでは他利用者さんとの距離感や人柄、気質等を考慮しゆっくりと過ごせる位置で落ち着いて過ごして頂けるよう常に観察を怠らず、支援工夫に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、慣れ親しんだ家具や大切にされてきた品物、写真やご家族のお位牌等にて居室作りをご本人と行い、居室の間違いがなく様表札や入口の装飾で安心して過ごして頂く様に行っています。</p>	<p>居室はタンスやベッド・カーテン・エアコンが設置してある。家から持ち込まれた、馴染みの寝具や机・椅子・テレビ・家族写真等があり、仏壇にはお茶と花が供えられ職員のさりげない心配りがある。カーテンの模様や色が各部屋違い、表札の工夫もあり、居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>日々の生活の中で個々の体調や精神的バランスを考慮しながら、お願い出来る事を見極め、見守りと支援を行っています。環境では転倒防止等に十分注意し建物内に定期的に点検し安全確保に努めています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない